

## 菌蕈研究所研究業績目録 (1961-2007)

### 原著論文

1. 橋岡良夫・小松光雄・有田郁夫：木材をおかす帽菌類の拮抗菌としての *Trichoderma viride* . シイタケ菌系の培養櫓木上に発生する *Trichoderma viride* の生理・生態 (英文). 菌蕈研報 1 : 1-8, 1961.
2. 橋岡良夫・石川久雄・小松光雄・有田郁夫：木材をおかす帽菌類の拮抗菌としての *Trichoderma viride* . 帽菌類に対する *Trichoderma viride* の抗菌性物質の生産 (英文). 菌蕈研報 1 : 9-18, 1961.
3. 木村劬二・藤生みさ子：帽菌類の異常子実体の研究 . ウシグソヒトヨの不開傘子実体 (英文). 菌蕈研報 1 : 19-28, 1961.
4. 河合弥・河合晃：シイタケ乾燥におけるニエツキ生成の条件. 菌蕈研報 1 : 29-34, 1961.
5. 石川久雄・河合晃・渡辺計・沖妙：シイタケ菌による木材主要成分, 特にリグニンの分解について. 菌蕈研報 1 : 35-44, 1961.
6. 小松光雄：変温環境ならびに子実体形成過程におけるシイタケ菌系の形態的变化. 菌蕈研報 1 : 45-59, 1961.
7. 武丸恒雄：菌類の遺伝学的研究 . シイタケの交配系. 菌蕈研報 1 : 61-68, 1961.
8. 橋岡良夫・小松光雄・有田郁夫：交雑によって得られたシイタケ子実体の形態学的ならびに生理学的形質. 菌蕈研報 1 : 69-84, 1961.
9. 松本由友・渡辺章：陽光の直射によるシイタケ櫓木内温度の変化について. 菌蕈研報 1 : 85-91, 1961.
10. 松本由友・西尾幸弘：人工庇陰内におけるシイタケ櫓木伏込地の地上高別温度の変化について. 菌蕈研報 1 : 92-94, 1961.
11. 有田郁夫・武丸恒雄：ナメコの交配系. 菌蕈研報 2 : 1-10, 1962.
12. 木村劬二・角谷啓作：帽菌類の異常子実体の研究 . ウシグソヒトヨの三核性子実体. 菌蕈研報 2 : 11-22, 1962.
13. 松本由友・滝田博康：多雪地方におけるシイタケの秋期植菌栽培試験. 菌蕈研報 2 : 23-26, 1962.
14. 河合晃：シイタケ乾燥における乾燥の速さと収縮との関係. 菌蕈研報 2 : 27-30, 1962.
15. 橋岡良夫：タイにおけるフクロタケの栽培. 菌蕈研報 2 : 31-37, 1962.
16. 木村劬二：標識遺伝子を用いてのBULLER現象の研究. . 不和合性組合せ. 菌蕈研報 3 : 1-5, 1963.
17. 小松光雄：シイタケ子実体のヒダの形態形成および孢子形成. 特にそれらに及ぼす光線と温度の影響について. 菌蕈研報 3 : 6-17, 1963.
18. 有田郁夫：シイタケ櫓木の害菌としての *Trichoderma viride* に対する諸有機殺菌剤の効力検定予備試験. 菌蕈研報 3 : 19-24, 1963.
19. 松本由友・滝田博康：シイタケ櫓木害菌の薬剤的防除に関する櫓場試験. 菌蕈研報 3 : 25-42, 1963.
20. 橋岡良夫・小松光雄：木材をおかす帽菌類の拮抗菌としての *Trichoderma viride* . シイタケほだ木に発生する *Hypocrea* の種類 (英文). 菌蕈研報 4 : 1-5, 1964.
21. 小松光雄・橋岡良夫：木材をおかす帽菌類の拮抗菌としての *Trichoderma viride* . 異種 *Hypocrea* および土壌に由来する *Trichoderma* 諸菌型の生理的性質 (英文). 菌蕈研報 4 : 6-10, 1964.
22. 小松光雄・橋岡良夫：木材をおかす帽菌類の拮抗菌としての *Trichoderma viride* . ほだ木内における *Trichoderma* 諸菌型のシイタケに対する侵害 (英文). 菌蕈研報 4 : 11-20, 1964.
23. 小松光雄・木村劬二：帽菌類の異常子実体の研究 . シイタケの菌褶褐変子実体. 菌蕈研報 4 : 21-28, 1964.
24. 小松光雄・木村劬二：帽菌類の異常子実体の研究 . シイタケの不稔子実体. 菌蕈研報 4 : 29-36, 1964.
25. 武丸恒雄：担子菌類における一核化の研究 . 薬剤処理による化学的誘発. 菌蕈研報 4 : 37-40, 1964.
26. 武丸恒雄：担子菌類における一核化の研究 . OXGALL処理により誘発された一核化菌系体の分析. 菌蕈研報 4 : 41-43, 1964.
27. 有田郁夫：ナメコ二核菌の一核化 . 菌蕈研報 4 : 44-51, 1964.
28. 滝田博康：シイタケほだ木害菌の土壌における繁殖 . 寒天培地ならびに殺菌土壌上における

- 害菌の発育. 菌蕈研報 4 : 53-57, 1964.
29. 小松光雄・橋岡良夫：木材をおかす帽菌類の拮抗菌としての *Trichoderma viride* . *Pachybasium* 菌糸とそれらのシイタケに対する抗菌性 (英文). 菌蕈研報 5 : 1-11, 1966.
30. 小松光雄・橋岡良夫：樹生菌蕈の真菌性腐敗 (英文). 菌蕈研報 5 : 12-17, 1966.
31. 橋岡良夫・堀野修・亀井達雄：トリコデルマ及びパキジバウム菌の電子顕微鏡像 (英文). 菌蕈研報 5 : 18-24, 1966.
32. 木村劫二・三石尚：標識遺伝子を用いての BULLER現象の研究. . 両和合性組合せ. 菌蕈研報 5 : 25-36, 1966.
33. 有田郁夫・坂本誠宏：帽菌類の交配系 . オシロイタケおよびアラゲカワキタケの交配系. 菌蕈研報 5 : 37-41, 1966.
34. 河合晃：シイタケの熱風乾燥における適正排気量および温度. 菌蕈研報 5 : 51-55, 1966.
35. 河合晃：乾燥におけるシイタケの光・芳香および乱褶. 菌蕈研報 5 : 56-60, 1966.
36. 松本由友：シイタケ子実体の発生量に及ぼす楢木水分の影響. 菌蕈研報 5 : 61-64, 1966.
37. MORQUER, Rene・小松光雄：シイタケ楢木上に見出される *Trichoderma* および *Gliocladium* 属菌 (英文). 菌蕈研報 8 : 136-140, 1968.
38. 小松光雄・木村劫二：ボルネオ産シイタケの性. 菌蕈研報 6 : 1-8, 1968.
39. 小松光雄・木村劫二：帽菌類の異常子実体の研究 . シイタケの白色子実体. 菌蕈研報 6 : 9-17, 1968.
40. 小松光雄：木材をおかす帽菌類の拮抗菌としての *Trichoderma viride* . シイタケほだ場における *Trichoderma* , *Pachybasium* および *Gliocladium* 属菌の分布. 菌蕈研報 6 : 18-28, 1968.
41. 小松光雄：木材をおかす帽菌類の拮抗菌としての *Trichoderma viride* . *Trichoderma* , *Pachybasium* , *Gliocladium* 属菌およびその他菌型のシイタケ菌糸体に対する抗菌力. 菌蕈研報 6 : 29-42, 1968.
42. 河合晃・柏木仁悦：シイタケ子実体の生長温度と収穫数量との関係. 菌蕈研報 6 : 43-48, 1968.
43. 有田郁夫：ナメコの生活環 . 菌蕈研報 6 : 49-57, 1968.
44. 有田郁夫：ナメコの栽培に関する基礎的研究 . 菌糸の生長と温度. 菌蕈研報 6 : 58-73, 1968.
45. 平塚直秀・金子繁：日本列島所産のセリ科植物に寄生する *Puccinia* 属菌の分類学的研究 (英文). 菌蕈研報 6 : 74-110, 1968.
46. 平塚直秀・金子繁：日本産タデ科植物に寄生する *Puccinea* 属菌3種 (英文). 菌蕈研報 7 : 1-7, 1969.
47. 橋岡良夫・吹田忠純：*Trichoderma* , *Gliocladium* および *Acremonium* の植物病源菌に対する重複寄生の電顕的観察 (英文). 菌蕈研報 7 : 8-18, 1969.
48. 小松光雄・稲田舜一：木材をおかす帽菌類の拮抗菌としての *Trichoderma viride* . *Trichoderma* , *Gliocladium* およびその他の *Hypocrea* のシイタケ菌糸体に対する抗菌力. 菌蕈研報 7 : 19-26, 1969.
49. 小松光雄：木材をおかす帽菌類の拮抗菌としての *Trichoderma viride* . ほだ木材内シイタケ菌糸体を侵害する *Trichoderma* , *Gliocladium* およびその他の *Hypocrea* の発育と温度および湿度との関係. 菌蕈研報 8 : 27-50, 1969.
50. 有田郁夫・三村公人：帽菌類の交配系 . アミスギタケ, ミカワタケ, ヌメリスギタケおよびタモギタケの交配系. 菌蕈研報 7 : 51-58, 1969.
51. 武丸恒雄・藤岡矩行：ウスバシハイタケの交配系. 菌蕈研報 7 : 59-63, 1969.
52. 木村劫二：対峙培養したウシグソヒトヨの二核菌糸体間にみられる子実体形成の優劣. 菌蕈研報 7 : 64-70, 1969.
53. 武丸恒雄・鎌田堯：紫外線照射によるヒトヨタケ子実体発生変異の誘発. 菌蕈研報 7 : 71-77, 1968.
54. 小松光雄：ナメコ鋸屑栽培々地から分離された数種の不完全菌類について. 菌蕈研報 7 : 78-89, 1969.
55. 有田郁夫・三村公人・寺谷篤子：ナメコの栽培に関する基礎的研究 . 樹種別鋸屑培地におけるナメコの菌糸体の生長および子実体の形成. 菌蕈研報 7 : 90-104, 1969.
56. 平塚直秀・平塚利子：東京都所産銹菌類目録. 菌蕈研報 7 : 105-126, 1969.
57. 小松光雄：ほだ木材内のシイタケ菌糸体に対する拮抗菌 . *Cephalosporium spp.* および *Phialophora lignicola* の形態的特徴ならびにシイタケ菌糸体との拮抗. 菌蕈研報 8 : 1-10,

- 1970.
58. 武丸恒雄・鎌田堯：紫外線照射によって誘発されたヒトヨタケ子実体発生変異の遺伝分析：*elongationless* と *expansionless*. 菌蕈研報 8：11-16, 1970.
  59. 武丸恒雄・佐野昭：カワラタケにおける複対立性ヘテロタリズム. 菌蕈研報 8：17-21, 1970.
  60. 武丸恒雄・井手重幸：ウチワタケにおける四極性交配系. 菌蕈研報 8：22-26, 1970.
  61. 武丸恒雄・藤岡矩行：ニクハリタケにおける四極性ヘテロタリズム. 菌蕈研報 8：27-32, 1970.
  62. 武丸恒雄・大原喜久子：一本の倒木上に群生したアラゲカワキタケの自然集団における不和合性因子. 菌蕈研報 8：33-38, 1970.
  63. 平塚直秀・佐藤昭二：「ブクキニア・ミトリフォルミス」菌について(英文). 菌蕈研報 8：39-44, 1970.
  64. 平塚直秀：日本本土および琉球列島所産銹菌類目録補遺( ) (英文). 菌蕈研報 8：45-51, 1970.
  65. 平塚直秀・金子繁：丹沢山塊所産銹菌類目録(英文). 菌蕈研報 8：52-65, 1970.
  66. 橋岡良夫：シイタケの表面および超薄切片電顕像(英文). 菌蕈研報 9：1-10, 1971.
  67. 平塚直秀・金子繁：タデ科植物に寄生する「ブクキニア」属菌2種について(英文). 菌蕈研報 9：11-15, 1971.
  68. 武丸恒雄・井手重幸：ヤキフタケにおける四極性ヘテロタリズム. 菌蕈研報 9：16-20, 1971.
  69. 武丸恒雄・鎌田堯：ヒトヨタケにおける子実体発生の遺伝子支配. 菌蕈研報 9：21-35, 1971.
  70. 有田郁夫：シイタケほだ木の害菌としての *Hypocrea* 属菌 . *Hypocrea* 菌による被害の実態と発生環境. 菌蕈研報 9：36-53, 1971.
  71. 平塚直秀：ムラサキカタバミに寄生する1銹菌. 日菌報14：177-178, 1973.
  72. 平塚直秀：日本列島所産 *Uromyces* 属菌の分類学的研究(英文). 菌蕈研報 10：1-98, 1973.
  73. 平塚直秀・金子繁：日本列島所産タデ科植物に寄生する *Puccinia* 属菌の分類(英文). 菌蕈研報 10：99-140, 1973.
  74. 平塚直秀・佐藤昭三：日本産銹菌の異種寄生性に関する接種試験実験結果総括(1937-1973)(英文). 菌蕈研報 10：141-154, 1973.
  75. 平塚直秀・平塚利子：伯耆大山産銹菌類目録(英文). 菌蕈研報 10：329-340, 1973.
  76. 木村劼二：和合性組合せによるBULLER現象における核の和合の制御. 菌蕈研報 10：365-370, 1973.
  77. 時本景亮・小松光雄・武丸恒雄：日本のシイタケ自然集団における不和合性因子. 菌蕈研報 10：371-376, 1973.
  78. 武丸恒雄・鎌田堯・村上重幸：ヒトヨタケにおける3種の形態的突然変異 *concentric*, *frizzy* および *dichotomous*. 菌蕈研報 10：377-382, 1973.
  79. 有田郁夫：ナメコの生活環 . 核学的観察. 菌蕈研報 10：383-388, 1973.
  80. 長沢栄史：北海道産ササ属植物に寄生する数種の子のう菌類について. 菌蕈研報 10：453-464, 1973.
  81. 橋岡良夫：菌寄生菌 *Trichoderma*, *Gliocladium* および *Acremonium* の走査電顕像(英文). 菌蕈研報 10：473-484, 1973.
  82. 石川久雄・沖妙・沢田房江：*Hypocrea* 属菌が生産する抗菌性物質について. 菌蕈研報 10：637-645, 1973.
  83. 牛山六男・橋岡良夫：帽菌のウイルス . シイタケ子実体細胞中の紐状ウイルス様粒子. 菌蕈研報 10：797-805, 1973.
  84. 中井幸隆・牛山六男：シイタケの微細構造 . 担子柄および担子胞子の走査電顕的研究(英文). 菌蕈研報 11：1-6, 1974.
  85. 中井幸隆・牛山六男：シイタケの微細構造 . 担子柄および担子胞子の形成(英文). 菌蕈研報 11：7-15, 1974.
  86. 中井幸隆・牛山六男：シイタケの微細構造 . 担子胞子の発芽(英文). 菌蕈研報 11：16-22, 1974.
  87. 時本景亮：寒天培地上に発生したカルス様異常シイタケ子実体(英文). 菌蕈研報 11：23-28, 1974.
  88. 大平郁男：シトネタケとシイタケの競合について. 菌蕈研報 11：42-49, 1974.
  89. 木村劼二：和合性組合せによるBULLER現象における核の移行の制御. 菌蕈研報 11：50-57, 1974.
  90. 有田郁夫：ヒラタケ白色子実体の遺伝. 菌蕈研報 11：58-68, 1974.
  91. 小松光雄・後藤正夫：シイタケの細菌病について. 菌蕈研報 11：69-82, 1974.

92. 平塚直秀：日本におけるナシおよびリンゴの赤星病菌の学名について．日菌報 16：90-92，1975．
93. 平塚直秀・金子繁： *Coleosporium* 属菌胞子の表面構造 (英文)．菌蕈研報 12：1-13，1975．
94. 金子繁： *Coleosporium petasitis* (DC.) LEV. の冬胞子および小生子発芽過程の核学的観察 (英文)．菌蕈研報 12：15-24，1975．
95. 時本景亮・河合晃：置換培養によるシイタケの子実体発生と栄養条件 (英文)．菌蕈研報 12：25-30，1975．
96. 本郷次雄・長沢栄史：数種の鳥取産イグチ類について (英文)．菌蕈研報 12：31-40，1975．
97. 中井幸隆：シイタケの微細構造．担子胞子 - 小柄連結部の表面および内部構造と担子胞子の離脱 (英文)．菌蕈研報 12：41-45，1975．
98. 村上重幸・武丸恒雄：紫外線照射によって誘発されたシイタケの“ puff ” 突然変異 (英文)．菌蕈研報 12：47-51，1975．
99. 牛山六男・中井幸隆：帽菌のウイルス．シイタケに存在する多面体ウイルス様粒子 (英文)．菌蕈研報 12：53-60，1975．
100. 平塚直秀・金子繁・大平郁男：琉球列島(1973年)において採集されたさび菌類目録 (英文)．菌蕈研報 12：61-67，1975．
101. 木村劬二：両和合性組合せによるBULLER現象における核和合の制御の補遺実験．菌蕈研報 12：69-77，1975．
102. 金子繁：ハイマツに寄生する *Coleosporium* 属菌2種について (英文)．日菌報 16：128-131，1975．
103. 有田立身：鳥取産ヤチグモ属の3新種 (英文)．動物学彙報 49：197-204，1976．
104. 小松光雄：シイタケに抗菌性の *Hypocrea*，*Trichoderma* および類縁菌群の研究．菌蕈研報 13：1-113，1976．
105. 平塚直秀：日本列島所産 *Puccinia* 属短世代種に関する研究 (東亜銹菌「フロラ」に関する研究) (英文)．菌蕈研報 14：1-77，1976．
106. 平塚直秀・金子繁：*Coleosporium horianum* HENNINGS および *Pucciniastrum corni* DIETEL の銹胞子世代 (英文)．菌蕈研報 14：79-84，1976．
107. 本郷次雄・長沢栄史：数種の鳥取産イグチ類について (英文)．菌蕈研報 14：85-89，1976．
108. 中井幸隆：シイタケの微細構造．固定によって出現する発芽担子細胞空胞内の封入体 (英文)．菌蕈研報 14：91-94，1976．
109. 石川久雄・沖妙・桐山久美：*Hypocrea* 属菌が生産する抗菌生物質の木材腐朽菌に対する生理作用．菌蕈研報 14：105-110，1976．
110. 木村劬二：和合性組合せによるBULLER現象における核の和合の制御の補遺実験．菌蕈研報 14：111-115，1976．
111. 中井幸隆・牛山六男：クロボタンタケの菌糸隔壁孔の微細構造 (英文)．日菌報 17：401-408，1976．
112. 牛山六男・中井幸隆・池上正人：シイタケの多面体ウイルス様粒子の二本鎖RNAの検出 (英文)．日本学士院紀要 52(B)：450-452，1976．
113. 牛山六男・中井幸隆・池上正人：シイタケの多面体ウイルス様粒子の二本鎖RNAの証明 (英文)．Virology 77：880-883，1977．
114. 牛山六男・中井幸隆：シイタケのプロトプラスト (英文)．菌蕈研報 15：1-5，1977．
115. 平塚直秀・金子繁：さび菌3種の生活史について (英文)．菌蕈研報 15：6-12，1977．
116. 金子繁：マツ葉さび病菌の1新種 *Coleosporium pedunculatum* (英文)．菌蕈研報 15：13-20，1977．
117. 金子繁：ツリガネニンジン属を冬胞子寄生とする *Coleosporium* 属菌の2新種 (英文)．菌蕈研報 15：21-28，1977．
118. 大平郁男：ヒラタケおよびその類似菌，ヒラタケ属の1種について (英文)．菌蕈研報 15：29-37，1977．
119. 長沢栄史・大谷吉雄：日本産タケ科植物に寄生する子囊菌類の種類 (英文)．菌蕈研報 15：38-42，1977．
120. 平塚直秀：伯耆大山産銹菌類目録補遺 (英文)．菌蕈研報 15：43-44，1977．
121. 中井幸隆・牛山六男・橋岡良夫：菌の微細構造 (英文)．菌蕈研報 15：45-49，1977．
122. 本郷次雄・長沢栄史：数種の鳥取産イグチ類について (英文)．菌蕈研報 15：50-54，1977．
123. 小松光雄：アラゲキクラゲの白色子実体．菌蕈研報 15：55-64，1977．
124. 時本景亮・河合晃・小松光雄：シイタケの子実体発生とほだ木の養分動態．菌蕈研報 15：65-69，1977．

125. 中井幸隆・牛山六男：シイタケの微細構造 . 核移動に關与する細胞質微小管 (英文). *Can. J. Bot.* 56 : 1205-1211, 1978.
126. 平塚直秀・金子繁：フチのさび病菌 *Ochropsora Kraunhiae* (DIFT.) DIETELの異種寄生性 (英文). 日本学士院紀要 54(B) : 300-303, 1978.
127. 平塚直秀・長谷部早百合：日本列島所産ユリ目 (ユリ科, ヒガンバナ科, ヤマノイモ科, アヤメ科) 植物に寄生する *Puccinia* 属菌の分類 (英文). 菌蕈研報 16 : 1-36, 1978.
128. 金子繁： *Coleosporium bletiae* DIETELの生活史と寄生範囲について (英文). 菌蕈研報 16 : 37-42, 1978.
129. 中井幸隆・牛山六男・橋岡良夫：真菌の微細構造 . 2. もち病菌の担子胞子形成. 3. タフリナ菌の子のう層構造 (英文). 菌蕈研報 16 : 43-49, 1978.
130. 本郷次雄・長沢栄史：数種の鳥取産イグチ類について (英文). 菌蕈研報 16 : 50-58, 1978.
131. 時本景亮・長谷部公三郎・小松光雄：シイタケの脱2核に關する研究, 1. 胆汁末による脱2核の誘発. 菌蕈研報 16 : 66-72, 1978.
132. 中井幸隆：シイタケ菌における小柄 - 担子胞子間の細胞質分断様式 (英文). *Mushroom Science* 10 : 191-199, 1978.
133. 有田郁夫：ナメコ菌系における脱二核化の機構 (英文). *Mycologia* 71 : 603-611, 1979.
134. 時本景亮・小松光雄：シイタケとトリコデルマの菌系間相互作用における培地の炭素源と窒素源の影響 (英文). *日植病報* 45 : 261-264, 1979.
135. 中井幸隆：真菌細胞の隔壁構造. *日菌報* 20 : 239-248, 1979.
136. 牛山六男・中井幸隆：シイタケの細胞内ウイルス様粒子 (英文). *J. gen. Virol.* 46 : 507-509, 1980.
137. 大平郁男： *Pleurotus pulmonarius* Fr. における胞子形成異常変異体 (英文). *日菌報* 20 : 107-114, 1979.
138. 平塚直秀・金子繁：日本産 *Endophylloides* 属菌の1新種 (英文). 日本学士院紀要 56(B) : 215-220, 1980.
139. 有田郁夫：スギタケ属菌の細胞学的研究 (英文). 菌蕈研報 17 : 1-118, 1979.
140. 時本景亮：トリコデルマの侵害によって誘起されるシイタケのポリフェノールオキシダーゼ活性の増大 (英文). 日本学士院紀要 56(B) : 221-225, 1980.
141. 平塚直秀：日本列島所産キク科植物に寄生する *Puccinea* 属の同種寄生種の分類 (英文). 菌蕈研報 18 : 1-52, 1980.
142. 平塚直秀・金子繁・西垣裕子：日本列島所産 *Phragmidium* 属菌の種類 (英文). 菌蕈研報 18 : 53-88, 1980.
143. 牛山六男・中井幸隆・林絹恵：培養経時によるシイタケ一次菌糸細胞内ウイルス様粒子の出現 (英文). 菌蕈研報 18 : 89-94, 1980.
144. 中井幸隆・牛山六男・橋岡良夫：真菌の微細構造 . コウガイカビ (花腐れをおこすケカビ) (英文). 菌蕈研報 18 : 95-105, 1980.
145. 有田郁夫・寺谷篤子・塩根友季子：ヌメリスギタケの生育温度 (英文). 菌蕈研報 18 : 107-113, 1980.
146. 金子繁：ブナ科樹木に寄生する菌類 . 日本産 *Coelomycetes* 菌数種について (英文). 菌蕈研報 18 : 115-128, 1980.
147. 大平郁男・松本晃幸：日本未記録の *Pleurotus pulmonarius* FR. (ウスヒラタケ, 新称) (英文). 菌蕈研報 18 : 129-132, 1980.
148. 本郷次雄・長沢栄史：数種の鳥取産イグチ類について (英文). 菌蕈研報 18 : 133-141, 1980.
149. 村上重幸・武丸恒雄：帽菌類子実体の柄細胞における核数 (英文). 菌蕈研報 18 : 143-018, 1980.
150. 平塚直秀・金子繁・長沢栄史：琉球列島(1979年)において採集されたさび菌類目録 (英文). 菌蕈研報 18 : 157-162, 1980.
151. 小松光雄・野崎芳繁・井上皎・宮内誠：伐採原木含水量の経時的变化とシイタケ菌糸生長との関連性. 菌蕈研報 18 : 169-187, 1980.
152. 時本景亮・坪井正知・尾崎栄一・小松光雄：シイタケほだ木の腐朽度と子実体形成との関係. 菌蕈研報 18 : 189-196, 1980.
153. 石川久雄・長尾正憲・沖妙・河部恵子：*Trichoderma* 菌の代謝産物によるシイタケ菌糸の生理的变化. 菌蕈研報 18 : 197-204, 1980.
154. 金子繁・平塚直秀：ブナ科樹木に寄生する菌類 . ブナさび病菌 *Pucciniastrum fagi* の異種寄生性 (英文). *日菌報* 21 : 417-421, 1980.
155. 時本景亮・福田正樹：シイタケのほだ木内菌糸体量と子実体発生量の関係 (英文). *Taiwan*

- Mushrooms 5 : 1-5, 1981.
156. 金子繁 : ブナ科樹木に寄生する菌類 . *Coniella castaneicola* によるナラ類およびクリのコニエラ葉枯病 (英文). 日植報 47 : 80-83, 1981.
  157. 金子繁・平塚直秀 : 日本産さび菌の1新種 *Blastospora betulae* (英文). Mycologia 73 : 577-580, 1981.
  158. 中井幸隆・牛山六男 : シイタケ菌糸細胞内に出現する細菌様微生物 (英文). Taiwan Mushrooms 5 : 6-9, 1981.
  159. 金子繁 : 日本列島所産 *Coleosporium* 属 (マツ葉さび病菌) (英文). 菌蕈研報 19 : 1-159, 1981.
  160. 長沢栄史・本郷次雄 : 日本新産種ニオウシメジについて (英文). 日菌報 22 : 181-185, 1981.
  161. 金子繁・平塚直秀 : 日本産樹木さび病菌4種について (英文). 日菌報 22 : 219-230, 1981.
  162. 牛山六男・中井幸隆 : シイタケに見出される菌類ウイルス様粒子の微細構造の特性 (英文). Virology 123 : 93-101, 1982.
  163. 村上重幸・武丸恒雄 : シイタケの担子孢子形成における核行動 (英文). 日菌報 26 : 253-260, 1985.
  164. 常田昭彦 : *Pseudogymnoascus roseus* の走査電子顕微鏡観察 (英文). Mycologia 74 : 844-847, 1982.
  165. 常田昭彦・平塚保之 : 菌寄生菌による松さび病菌の生物学的防除 (英文). 日本学士院紀要 57 (B) : 337-341, 1981.
  166. 金子繁・平塚直秀 : 夏胞子発芽孔の位置に基づく *Melampsorium* 属菌の種の識別. 日菌報 22 : 463-473, 1981.
  167. 時本景亮 : シイタケとトリコデルマ・ハルチアナムの拮抗場面におけるトリコデルマ溶菌酵素によるシイタケ菌糸体の溶解 (英文). 日菌報 23 : 13-20, 1982.
  168. 金子繁 : ブナ科樹木に寄生する菌類 . *Coniothyrium fuckelii* によるシラカシのすす点葉枯病 (英文). 日植病報 48 : 677-680, 1982.
  169. 時本景亮・小松光雄 : シイタケの菌糸生長および子実体原基形成におよぼす培養温度の影響. 日菌報 23 : 385-390, 1982.
  170. 平塚直秀・金子繁 : 日本産ヤナギ類に寄生する *Melampsora* 属菌の分類 (英文). 菌蕈研報 20 : 1-32, 1982.
  171. 前川二太郎・有田郁夫・林康夫 : 日本産コウヤクタケ科1. 日本未記録 *Gloeocystidiellum* 属菌3種について (英文). 菌蕈研報 20 : 33-41, 1982.
  172. 常田昭彦 : クロコブタケ (*Hypoxylon truncatum*) の子のう殻に寄生する *Nectria episphaeria* (英文). 菌蕈研報 20 : 42-46, 1982.
  173. 中井幸隆・牛山六男・小松光雄 : シイタケ菌の褐変異常子実体に見出される桿状細菌 (英文). 菌蕈研報 20 : 47-53, 1982.
  174. 村上重幸・常田昭彦 : アデニン要求性遺伝子によるシイタケ菌のトリコデルマ抵抗性の低下 (英文). 菌蕈研報 20 : 54-62, 1982.
  175. 常田昭彦・平塚保之 : *Scopinella gallicola* と *Cladosporium* sp. との 'Commensalism' について (英文). 菌蕈研報 20 : 63-69, 1982.
  176. 常田昭彦・有田立身 : シイタケほだ木上のトビムシ (*Hypogastrura reticulata* BÖRNER) の食菌活動 (英文). 菌蕈研報 20 : 70-75, 1982.
  177. 長沢栄史 : 今井三子博士 (1900-1976) によって発表されたハラタケ菌およびイグチ類の分類群一覧 (英文). 菌蕈研報 20 : 76-82, 1982.
  178. 小松光雄・時本景亮 : ほだ木上におけるシイタケの子実体原基形成におよぼす温度および水分の影響. 菌蕈研報 20 : 104-112, 1982.
  179. 長谷部公三郎・時本景亮・小松光雄 : シイタケの形態的突然変異 "dwarf" について. 菌蕈研報 20 : 113-116, 1982.
  180. 時本景亮・広居忠量・西田篤宏・玉井篤・福田正樹 : シイタケの栽培過程におけるほだ木成分と子実体発生量の変化. 菌蕈研報 20 : 117-122, 1982.
  181. 大平郁男・松本晃幸・大久保充・前田俊夫・山根光治 : シイタケ子実体発生および形態におよぼす温度の影響. 菌蕈研報 20 : 123-139, 1982.
  182. 松本晃幸・大平郁男 : マイタケ菌糸体の培養特性. 菌蕈研報 20 : 140-147, 1982.
  183. 古塚秀夫 : 生シイタケ栽培経営の最適集約度と最適規模について. 菌蕈研報 20 : 148-162, 1982.
  184. 有田郁夫・寺谷篤子・衣笠典子 : 培養によるイカタケ子実体の発生 (英文). 日菌報 23 : 475-479, 1982.
  185. 金子繁・平塚直秀 : *Pucciniastraceae* および *Melampsoraceae* に属すさび菌類の分類における夏胞子発芽孔の重要性 (英文). 日菌報 23 :

- 201-210, 1982.
186. 金子繁・平塚直秀：クマシデ，アサダ両属植物に寄生する *Melampsorium* 属の1新種 (英文). *Mycotaxon* 18 : 1-4, 1983.
  187. 牛山六男：シイタケのウイルスに関する研究 (英文). *菌蕈研報* 21 : 1-60, 1983.
  188. 平塚直秀・金子繁：日本所産イネ科植物に寄生する *Puccinia* 属菌の目録 (英文). *菌蕈研報* 21 : 61-75, 1983.
  189. 平塚直秀・金子繁・西垣裕子：北海道 (1982年) において採集されたさび菌類の種類 (英文). *菌蕈研報* 21 : 76-81, 1983.
  190. 金子繁・平塚直秀：新たに見出されたカンバ類およびモミのさび病とそれらの病原菌. *日林誌* 66 : 280-284, 1984.
  191. 金子繁・勝本謙・平塚直秀：フタバアオイに寄生する *Coroterium* 属 (さび菌目) の1新種 (英文). *日菌報* 24 : 433-436, 1983.
  192. 金子繁・平塚直秀：*Puccinia daisenensis* と *Pucciniastrum fagi* の異種寄生性 (英文). *日菌報* 24 : 437-440, 1983.
  193. 常田昭彦・有田立身：アニュレートタイプの *Hypoxyton truncatum* における子のう胞子分散について (英文). *Can. J. Bot.* 62 : 1920-1924, 1984.
  194. 金子繁・小林享夫：ブナ科樹木に寄生する菌類 . カシ類の葉に寄生するディアポルテ菌科の3種 (英文). *日菌報* 25 : 11-19, 1984.
  195. 平塚利子：銹菌の外来種について. *桐朋学園大学研究紀要* 10 : 157-179, 1984.
  196. 常田昭彦・平塚直秀：*Ceratocystis clavigera* のシンポジオ型およびアネロ型分生子形成について (英文). *Can. J. Bot.* 62 : 2618-2624, 1984.
  197. 金子繁・平塚直秀：北アルプス山系 (飛騨山脈) において採集した銹菌の種類目録 (英文). *菌蕈研報* 22 : 1-8, 1984.
  198. 平塚直秀・佐藤昭二・柿島真：日本産銹菌の異種寄生性に関する接種試験結果総括 (1899-1983) (英文). *菌蕈研報* 22 : 9-41, 1984.
  199. 常田昭彦・村上重幸：*Phaeothea fissurella* における内生型分生子の発達と放出について (英文). *Mycologia* 77 : 433-440, 1985.
  200. 長沢栄史：イグチ類の新種 *Boletellus elatus* について (英文). *日菌報* 25 : 361-366, 1984.
  201. 平塚直秀・佐藤昭二：日本産異種寄生性銹菌の接種試験 (6) (英文). *菌蕈研報* 22 : 42-44, 1984.
  202. 長沢栄史・本郷次雄：西日本で採集されたテングタケ属の3新種，および1新品種について (英文). *日菌報* 25 : 367-376, 1984.
  203. 常田昭彦・David Malloch・平塚保之：*Scopinella* 菌の子のう胞子の形態と発芽 (英文). *日菌報* 26 : 221-229, 1985.
  204. 長沢栄史・本郷次雄：山陰地方の数種の褶菌類について (英文). *国立科学博物館専報* 18 : 73-88, 1985.
  205. 常田昭彦・村上重幸：キクイムシ孔道から分離した *Rinocladiella atrovirens* の多形性と分生子形成様式 (英文). *Can. J. Bot.* 64 : 1112-1119, 1986.
  206. 時本景亮：ほだ木内におけるシイタケ菌とトリコデルマ菌との競合に関する生理学的研究. *菌蕈研報* 23 : 1-54, 1985.
  207. 平塚直秀・平塚利子・平塚和之：琉球列島所産銹菌類 (英文). *菌蕈研報* 23 : 55-103, 1985.
  208. 前川二郎：*Cerinomyces* 属の1新種について (英文). *Can. J. Bot.* 65 : 583-588, 1987.
  209. 中井幸隆：シイタケ菌に関する細胞学的研究. *菌蕈研報* 24 : 1-202, 1986.
  210. 平塚直秀・平塚利子・平塚和之：北海道所産銹菌類 (英文). *菌蕈研報* 24 : 203-233, 1986.
  211. 平塚直秀：北海道産銹菌 *Puccinia*, *Uromyces* および *Phragmidium* 三属菌の短世代種の地理的分布について (英文). *Notes from the Royal Botanic Garden Edinburgh* 44 : 415-419, 1987.
  212. 平塚直秀：日本における銹菌学研究史 (英文). *真菌学報増刊* 1 : 12-25, 1986.
  213. 時本景亮・藤多哲朗・武田美雄・高石喜久：トリコデルマの侵入によって誘起されるシイタケ菌糸体の抗菌性物質生産量の増大 (英文). *日本学士院紀要* 63(B) : 277-280, 1987.
  214. 常田昭彦：*Dipodascus aggregatus* の分生子形成様式における不定性 (英文). *日菌報* 28 : 303-312, 1987.
  215. 時本景亮・福田正樹・小松光雄・古川久彦：シイタケにおける木材腐朽力の種内変異と遺伝. *防菌防黴* 15 : 441-447, 1987.
  216. 松本晃幸・北本豊：シイタケの木粉培養における冠水処理による子実体形成の誘起. *日菌報* 28 : 437-443, 1987.
  217. 長沢栄史：担子菌類クビレタンシキン目の一種

- Dicellomyces gloeosporus* (ササノヒメサラタケ - 新称) について (英文). 菌蕈研報 25 : 1-5, 1987.
218. 前川二太郎・常田昭彦・有田郁夫 : シイタケほだ木上に発生する *Ceratocystis* 属菌について (英文). 菌蕈研報 25 : 6-14, 1987.
219. 常田昭彦 : *Candida* 様のキクイムシ孔道生息菌が, コナラ道管壁および培地上で示す酵母型から菌糸型への移行 (英文). 菌蕈研報 25 : 15-23, 1987.
220. 時本景亮・福田正樹・岸本仁志・越谷博 : シイタケ子実体の生長にともなうほだ木内酵素活性の変動 (英文). 菌蕈研報 25 : 24-35, 1987.
221. 常田昭彦・越谷博・古川郁夫 : シイタケ菌による木材の初期腐朽形態 (英文). 菌蕈研報 25 : 36-48, 1987.
222. 村上重幸・長谷部公三郎・常田昭彦 : シイタケ菌の異常クランプ形成変異体 (英文). 菌蕈研報 25 : 49-55, 1987.
223. 長谷部公三郎・村上重幸・小松光雄 : シイタケ一核菌糸体コロニーの形態的突然変異体の遺伝分析. 菌蕈研報 25 : 56-61, 1987.
224. 松本晃幸・時本景亮 : シイタケ子実体の生長にともなう元素含量の変動. 菌蕈研報 25 : 62-67, 1987.
225. 福田正樹・時本景亮・坪井正知・西尾幸弘 : シイタケ原木の形質とほだ木の腐朽度および子実体発生量の関係. 菌蕈研報 25 : 68-74, 1987.
226. 古塚秀夫 : シイタケ栽培経営の技術的・経営的特質とその簿記的把握方法. 菌蕈研報 25 : 75-108, 1987.
227. 常田昭彦 : キクイムシ孔道生息菌類の分生子形成における多形性とプロトプラスト復帰 (英文). Proc. Japan Acad. 64 : 135-138, 1988.
228. 松本晃幸・北本豊 : 冠水処理によるシイタケの子実体形成の誘起と呼吸活性の増大 (英文). 日菌報 29 : 265-270, 1988.
229. 長沢栄史・Soctt A. Redhead : 新種の食用きのこオドタケについて (英文). 菌蕈研報 26 : 1-5, 1988.
230. 長沢栄史 : クロサイワイタケ科の4種について (英文). 菌蕈研報 26 : 6-14, 1988.
231. 前川二太郎・福田正樹・有田郁夫・小松光雄 : 食用担子菌類の液体窒素凍結保存 (英文). 菌蕈研報 26 : 15-28, 1988.
232. 常田昭彦 : シイタケ菌によるコナラ材の初期腐朽形態と導管内チロース (英文). 菌蕈研報 26 : 29-36, 1988.
233. 時本景亮・福田正樹・小松光雄 : シイタケの一核および二核菌糸体によって腐朽されたブナ材における化学組成の変異 (英文). 菌蕈研報 26 : 37-45, 1988.
234. 松本晃幸 : 木粉培地におけるシイタケ子実体の成長にともなう炭水化物加水分解酵素, ホスホリラーゼ, プロテアーゼおよびフェノールオキシダーゼ活性の変動 (英文). 菌蕈研報 26 : 46-54, 1988.
235. 前田好之・中井幸隆・有田郁夫・小松光雄 : ナメコのプロトプラストの作出と菌糸復帰. 菌蕈研報 26 : 55-64, 1988.
236. 福田正樹・時本景亮・坪井正知・西尾幸弘 : シイタケ原木の伐採時期とほだ木の腐朽度および子実体発生量との関係. 菌蕈研報 26 : 65-70, 1988.
237. 長沢栄史・有田郁夫 : *Hypsizygus urmarius* (シロタモギタケ) および *H. marmoreus* (ブナシメジ) について. 菌蕈研報 26 : 71-78, 1988.
238. 古塚秀夫 : シイタケ栽培経営の1,000本当たり生産量に基づく作況指数の算出と産地の類型区分. 菌蕈研報 26 : 79-104, 1988.
239. 常田昭彦・村上重幸 : *Dipodascus aggregatus* の孢子形成と隔壁溶解様式 (英文). Can. J. Bot. 67 : 2150-2153, 1989.
240. 古塚秀夫 : 乾シイタケ生産の周期解析. 農林業問題研究 94 : 1-9, 1989.
241. 常田昭彦・古川郁夫・越谷博 : シイタケ菌によるブナ辺材リグニンとセルローズ繊維の分解様式 (英文). 日菌報 30 : 415-425, 1989.
242. 村上重幸 : 担子菌ウシグソヒトヨタケにおける倍数性の研究. 菌蕈研報 27 : 1-55, 1989.
243. 長沢栄史・本郷次雄・成田傳蔵 : ニオイオオタマシメジについて (英文). 菌蕈研報 28 : 135-141, 1990.
244. 大平郁男 : タモギタケの分類学的検討 (英文). 菌蕈研報 28 : 143-150, 1990.
245. 村上重幸・武丸恒雄 : トキイロヒラタケの白色子実体に関する遺伝学的研究 (英文). 菌蕈研報 28 : 199-204, 1990.
246. 前田好之・中井幸隆・小松光雄・佐藤文彦・山田康之 : マッシュルームのプロトプラストの作



- 出と菌糸復帰 (英文). 菌蕈研報 28 : 205-214, 1990.
247. 常田昭彦・前田好之 : ヒラタケ・プロトプラストの細胞壁再生と菌糸復帰 (英文). 菌蕈研報 28 : 215-225, 1990.
248. 前川二太郎・福田正樹・有田立身・小松光雄 : 栽培食用担子菌類の液体窒素凍結保存 (英文). 菌蕈研報 28 : 227-232, 1990.
249. 平塚利子・平塚直秀 : 佐渡ヶ島 (新潟県) で採集した銹菌類の種類. 菌蕈研報 28 : 237-241, 1990.
250. 長谷部公三郎・有田郁夫・時本景亮・大平郁男 : シイタケのほだ木栽培における子実体発生型の遺伝. 菌蕈研報 28 : 317-323, 1990.
251. 松本晃幸・時本景亮・福田正樹・坪井正知 : シイタケ原木の伐採時期による無機元素含量の差異が子実体発生量に及ぼす影響. 菌蕈研報 28 : 325-332, 1990.
252. 前川二太郎 : *Botryobasidium pruinautum* (コウヤクタケ科, ヒダナシタケ目) の再定義およびその近縁種との関係 (英文). 日菌報 31 : 467-478, 1990.
253. 前川二太郎 : *Botryobasidium candicans* (コウヤクタケ科, ヒダナシタケ目) の新変種 (英文). 日菌報 32 : 43-48, 1991.
254. 福田正樹・時本景亮 : シイタケ自然集団におけるアイソザイム型の変 (英文). 日本学士院紀要 67(B) : 43-47, 1991.
255. 長谷部公三郎・村上重幸・常田昭彦 : シイタケの担子胞子欠損変異体に関する細胞学的ならびに遺伝学的研究 (英文). *Mycologia* 38 : 354-359, 1991.
256. 平塚直秀・陳端青 : 台湾産銹菌リスト (英文). 日菌報 32 : 3-22, 1991.
257. 大平郁男・古川郁夫・作野友康 : コナラ師部の構造とシイタケ菌によるその腐朽形態 (英文). 木材学会誌 37 : 681-687, 1991.
258. 常田昭彦・前田二太郎・大平郁男・古川郁夫 : コナラ辺材のシイタケ菌による初期腐朽と *Leptodontidium elatius* による腐朽阻害 (英文). *Can. J. Bot.* 69 : 2797-2805, 1991.
259. 前川二太郎 : *Botryobasidium* (コウヤクタケ科, ヒダナシタケ目) の日本未報告種7種について (英文). 日菌報 32 : 125-133, 1991.
260. 古塚秀夫 : シイタケ栽培経営管理論. 300頁, 明文書房, 1991.
261. 長谷部公三郎 : シイタケの突然変異および農業形質に関する遺伝・育種学的研究. 菌蕈研報 29 : 1-69, 1991.
262. 大平郁男 : シイタケ菌によるコナラの腐朽様式と子実体発生に関する研究. 菌蕈研報 29 : 70-128, 1991.
263. 大平郁男・古川郁夫・作野友康 : シイタケ菌によるコナラ辺材部の木繊維と柔細胞の腐朽様式 (英文). 木材学会誌 38 : 85-91, 1992.
264. 前川二太郎 : 日本産 *Botryohypochnus* 属 (コウヤクタケ科, ヒダナシタケ目) 菌について (英文). 日菌報 33 : 317-624, 1992.
265. 長谷部公三郎・村上重幸・常田昭彦 : 二種の配偶体致死因子を持つシイタケ二核菌糸株の細胞遺伝学的研究 (英文). *Can. J. Bot.* 70 : 601-606, 1992.
266. 大平郁男・古川郁夫・作野友康 : シイタケ子実体発生にともなうほだ木内菌糸の動態. 日菌報 33 : 325-335, 1992.
267. 常田昭彦・R. G. Thorn・D. S. Hibbett : *Lentinus tigrinus* (ケガワタケ) の厚膜胞子および *Pseudomonas fluorescence* との相互作用 (英文). 菌蕈研報 30 : 1-12, 1992.
268. Thorn, R. G.・常田昭彦 : 木材腐朽性担子菌類と細菌類との相互作用における生育阻害および溶菌現象 (英文). 菌蕈研報 30 : 13-20, 1992.
269. 前川二太郎 : 台湾蘭嶼島におけるヒダナシタケ目コウヤクタケ科菌について (英文). 菌蕈研報 30 : 21-25, 1992.
270. 霜村典宏・長谷部公三郎・福政幸隆・小松光雄 : 地理的分布域の異なるシイタケ菌株の和合性 (英文). 菌蕈研報 30 : 26-29, 1992.
271. Hibbett, D. S. : シイタケの系統分類に向けて : その分類の変遷と分子生物学的展望 (英文). 菌蕈研報 30 : 30-42, 1992.
272. 福政幸隆・松本晃幸・福田正樹 : 高等担子菌類における制限酵素切断型分析のためのミトコンドリアDNAの効率的分離 (英文). 菌蕈研報 30 : 60-68, 1992.
273. 長沢栄史・工藤伸一 : 日本新産種 *Creolophus cirrhatus* (フサハリタケ - 新称) について. 菌蕈研報 30 : 69-74, 1992.
274. 松本晃幸・時本景亮 : シイタケ子実体の生長過程におけるほだ木内無機元素の動態. 菌蕈研報

- 30 : 75-82, 1992.
275. Hibbett, D. S.・村上重幸・常田昭彦 : *Lentinus* 属における子実層托型の系統発生的意義 (英文). *Mycologia* 85 : 428-443, 1993.
276. Currah, R. S.・常田昭彦 : *Phialocephala fortinii* (不完全菌, *Mycelium radicia atrovirens*) の菌糸, 菌糸束, 菌核の形態と分生子形成 (英文). *日菌報* 34 : 345-356, 1993.
277. 常田昭彦・村上重幸・Lynne Sigler・平塚保之 : *Dolipore-parenthesome* 隔壁を有する担子菌アナモルフにおける節胞子形成 (英文). *Can. J. Bot.* 71 : 1032-1038, 1993.
278. 前川二太郎 : 日本産コウヤクタケ科3新種について (英文). *日本学士院紀要* 69(B) : 119-122, 1993.
279. Hibbett, D. S.・村上重幸・常田昭彦 : *Panus* 属 (担子菌類) の子実体発達様式と系統発生および分類 (英文). *Amer. J. Bot.* 80 : 1336-1348, 1993.
280. Currah, R. S.・常田昭彦・村上重幸 : *Rhododendron brachycarpum* の根における *Phialocephala fortinii* の形態と生態 (英文). *Can. J. Bot.* 71 : 1639-1644, 1993.
281. Thorn, R. G.・常田昭彦 : 寒天培地上および木材組織中での *Pleurotus*, 線虫, 細菌間の相互作用 (英文). *日菌報* 34 : 449-464, 1993.
282. 常田昭彦 : シイタケ, ヒラタケと他の微生物との相互作用 (英文). *マイコトキシン* 38 : 5-9, 1993.
283. Currah, R. S.・常田昭彦・村上重幸 : *Oidiodendron periconioides* の分生子形成と *Rhododendron brachycarpum* と形成した *ericoid* 菌根の微細構造 (英文). *Can. J. Bot.* 71 : 1481-1485, 1993.
284. 前川二太郎 : 日本産コウヤクタケ科菌類 (ヒダナシタケ目) の分類学的研究 ( ) (英文). *菌蕈研報* 31 : 3-149, 1993.
285. 松本晃幸・福政幸隆 : シイタケおよびヒラタケにおけるミトコンドリアDNAの多形性と遺伝 (英文). *菌蕈研報* 31 : 153-161, 1993.
286. 福田正樹・福政幸隆・D. S. Hibbett・松本晃幸・林康夫 : シイタケ野性集団におけるミトコンドリアDNAの多形性 (英文). *Mycol. Res.* 98 : 169-175, 1994.
287. Hibbett, D. S.・常田昭彦・村上重幸 : セコティオイドな *Lentinus tigrinus* の遺伝性および菌類形態学的意義について (英文). *Amer. J. Bot.* 81 : 466-478, 1994.
288. 松本晃幸・福政幸隆 : ヒラタケのクロラムフェニコール耐性変異株の分離と遺伝解析 (英文). *Biosci. Biochem.* 58 : 434-435, 1994.
289. 福政幸隆・松本晃幸・小松光雄 : シイタケ菌の二核菌糸体から調整したプロトクローンの子実体形成能 (英文). *Mycoscience* 35 : 137-139, 1994.
290. 長沢栄史 : 日本産 *Boletus* 属の一新種 (英文). *日本学士院紀要* 70(B) : 10-14, 1994.
291. 時本景亮・小松光雄・福政幸隆 : *Trichoderma* 属菌に耐性を有するシイタケ菌株の選抜法 (英文). *日本学士院紀要* 7(B) : 112-116, 1994.
292. 福政幸隆・松本晃幸・小松光雄 : プロトプラスト再生法によるシイタケの脱二核化 (英文). *J. Gen. Appl. Microbiol.* 40 : 551-562, 1994.
293. Hibbett, D. S.・村上重幸・常田昭彦 : *Lentinus*, *Panus* および *Neolentinus* における減数分裂後の核行動 (英文). *Mycologia* 86 : 725-739, 1994.
294. 前川二太郎 : 日本産コウヤクタケ科 (ヒダナシタケ目) の分類学的研究 (英文). *菌蕈研報* 32 : 1-123, 1994.
295. 常田昭彦・R. G. Thorn : シイタケ菌と *Pseudomonas* 属細菌との相互作用 (英文). *Can. J. Microbiol.* 40 : 937-943, 1995.
296. 福田正樹・原田由起子・今堀哲子・福政幸隆・林康夫 : シイタケ核菌糸の交雑と細胞融合におけるミトコンドリアDNAの遺伝 (英文). *Curr. Genet.* 27 : 550-554, 1995.
297. 常田昭彦・R. G. Thorn : 木材腐朽菌と他の微生物との相互作用 ; とくに細胞壁の分解作用について (英文). *Can. J. Bot.* 73(Suppl. 1) : S 1325-1333, 1995.
298. 時本景亮・小松光雄 : *Trichoderma spp.* に耐性を有するシイタケ菌株の選抜と育種 (英文). *Can. J. Bot.* 73 (Suppl. 1) : S962-966, 1995.
299. 松本晃幸・福政幸隆 : ヒラタケの自然集団におけるミトコンドリアDNA制限酵素切断長の多形性と遺伝的関連性 (英文). *Mycol. Res.* 99 : 562-566, 1995.
300. Hibbett, D. S.・福政幸隆・常田昭彦・Michael J. Donoghue : リボゾームDNAの塩基配列からみたシイタケの系統発生的関係 (英文).

- Mycologia 87 : 618-638, 1995.
301. 前川二太郎・臧穆：中国雲南省におけるヒダナシタケ目コウヤクタケ科菌について (英文). 国立科学博物館専報 21 : 87-94, 1995.
  302. 長沢栄史：有毒なヤマドリタケ属の1新種について (英文). 菌蕈研報 33 : 1-6, 1995.
  303. 常田昭彦・前川二太郎・Sigler, L. : シイタケの罹病子実体に発生した *Eleutheromyces* の *Hyphozyma* シンアナモルフ (英文). 菌蕈研報 33 : 14-20, 1995.
  304. 村上重幸・常田昭彦：ヨーロッパおよび日本産ヤナギマツタケの株内・株間交雑 (英文). 菌蕈研報 33 : 21-28, 1995.
  305. 松本晃幸・福政幸隆・小松光雄：プロトプラスト再生法による高等担子菌類子菌類の効率的脱二核化 (英文). 菌蕈研報 33 : 29-33, 1995.
  306. Gill, W.M. : ハラタケ属きのこの細菌病 (英文). 菌蕈研報 33 : 34-55, 1995.
  307. 常田昭彦・陶山一雄・村上重幸・大平郁男：原木栽培シイタケに発生した *Pseudomonas tolaasii* における細菌病 (英文). Mycoscience 36 : 283-288, 1995.
  308. 中村公義・前川二太郎・山本秀樹：エノキタケの新病害：桃色かび立枯病. 長野県野菜花き試験場報告 9 : 55-62, 1996.
  309. 松下範久・福田健二・長沢栄史・寺下隆喜代・鈴木和夫：アイソザイムパターンによる日本産ナラタケ属菌の同定と北半球産ナラタケ属菌について (英文). J. For. Res. 1 : 155-160, 1996.
  310. 福田正樹・福政幸隆：シイタケ子実体の複数細胞起源を支持する遺伝的証拠 (英文). 木材学会誌 42 : 1025-1028, 1996.
  311. 常田昭彦・前川二太郎・R. S. Currah : クヌギから分離した *Leptodontidium* 属菌の1新種 (英文). Mycotaxon 60 : 485-490, 1996.
  312. Thorn, G. ・常田昭彦：我が国の栽培キノコに病原性を持つ *Pseudomonas* 属菌数株の分子遺伝学的比較検討 (英文). Mycoscience 37 : 409-416, 1996.
  313. 松本晃幸：ヒラタケのミトコンドリアDNAの多型性とその遺伝制御に関する研究. 菌蕈研報 34 : 1-97, 1996.
  314. 松本晃幸・福政幸隆：ヒラタケの交配におけるミトコンドリアDNAの遺伝 (英文). Current Genetics 30 : 549-552, 1996.
  315. 前川二太郎・臧穆：中国雲南省アカキクラゲ目の新種、*Cerinomyces curvisporus* について (英文). Mycotaxon 61 : 343-346, 1997.
  316. 前川二太郎：西表島産ツノタンシキン目の1新種、*Ypsilonidium bananisporum* について (英文). Mycoscience 38 : 73-75, 1997.
  317. 常田昭彦・村上重幸・W. M. Gill・前川二太郎：*Eleutheromyces subulatus* の *Hyphozyma* シンアナモルフによるシイタケ黒色斑点病について (英文). Mycologia 89 : 867-875, 1997.
  318. 常田昭彦・前川二太郎・小松光雄：*Leptodontidium quercuum* : シイタケ菌に対する拮抗作用と分生子形成様式 (英文). Can. J. Bot. 75 : 1649-1655, 1997.
  319. 前川二太郎：日本産コウヤクタケ科の分類学的研究 (英文). 菌蕈研報 35 : 29-38, 1997.
  320. 時本景亮・福田正樹：シイタケの子実体発生に伴うほだ木の酵素活性の変動 (英文). 木材学会誌 43 : 444-449, 1997.
  321. Gill, W. M. ・常田昭彦：日本の栽培きのこ種と *Pseudomonas gladioli* PV. *agaricicola* との相互作用 (英文). Can. J. Microbiol. 43 : 639-648, 1997.
  322. 長沢栄史：日本産ハラタケ目菌類目録. I. イグチ亜目 (英文). 菌蕈研報 35 : 39-78, 1997.
  323. 太田祐子・松下範久・長沢栄史・寺下隆喜代・福田健二・鈴木和夫：日本産ナラタケの生物学的種 (英文). Plant Disease 82 : 537-543, 1998.
  324. 福政幸隆・松本晃幸・時本景亮：シイタケにおける6種類の線状ミトコンドリアプラスミドの検出と分布 (英文). Mycoscience 39 : 123-134, 1998.
  325. 時本景亮・福田正樹・坪井正知：シイタケの子実体発生とほだ木の物理性との関係 (英文). Mycoscience 39 : 217-219, 1998.
  326. 時本景亮・福政幸隆・松本晃幸・前川二太郎：トリコデルマ菌侵害に耐性を有するシイタケ菌株の選抜. 木材学会誌 44 : 351-359, 1998.
  327. 時本景亮・福田正樹・松本晃幸・福政幸隆：シイタケの一核性プロトプラスト間の融合で生じた二核菌糸体における子実体形成能力の変異 (英文). J. Wood Sci. 44 : 469-472, 1998.
  328. 前川二太郎：日本産コウヤクタケ科の分類学的研究 (英文). 菌蕈研報 36 : 1-12, 1998.

329. 工藤伸一・長沢栄史：日本新産種 *Tricholoma cingulatum* (ツバササクレシメジ - 新称) について. 菌蕈研報 36 : 16-20, 1998.
330. 長谷部公三郎・大平郁男・有田郁夫：シイタケほだ木栽培における子実体発生温度型：高温型、中温型および低温型の遺伝的關係. 菌蕈研報 36 : 21-28, 1998.
331. 村上重幸：ヤナギマツタケの Sporeless 突然変異体に関する細胞学的研究. 菌蕈研報 36 : 29-35, 1998.
332. 長沢栄史：日本産ハラタケ目菌類目録. . . ベニタケ亜目 (英文). 菌蕈研報 36 : 1-12, 1998.
333. 栄木譲：条件不利地域を「生態的」条件有利地域と見れば - 愛媛県の中山間地域における原木乾シイタケ栽培を事例にして. 地域農林経済学会大会論文集 6 : 49-53, 1998.
334. 長沢栄史・本郷次雄：ウラベニホテイシメジについての新学名の提案 (英文). 菌蕈研報 37 : 1-6, 1999.
335. 前川二太郎：日本産コウヤクタケ科の分類学的研究 (英文). 菌蕈研報 37 : 7-20, 1999.
336. 福政幸隆・松本晃幸：リケツチア様微生物に起因するシイタケ子実体矮化病 (英文). 菌蕈研報 37 : 21-35, 1999.
337. 長谷部公三郎：ほだ木栽培における高温発生型シイタケ菌株の室内選抜の一方法. 菌蕈研報 37 : 50-56, 1999.
338. 坪井正知・時本景亮：シイタケほだ木の呼吸活性と子実体発生との関係. 菌蕈研報 37 : 57-63, 1999.
339. 村上重幸：トキイロヒラタケの白色子実体に関する遺伝解析の実験補遺. 菌蕈研報 37 : 64-70, 1999.
340. 松本晃幸・三村公人・福政幸隆：ナメコ自然集団における不和合性因子の分布. 菌蕈研報 37 : 71-76, 1999.
341. 長沢栄史・三谷進：テングタケ属マツカサモドキ節の1新種 (英文). 国立科学博物館専報 32 : 93-97, 2000.
342. 長沢栄史・有田郁夫：中国地方で初めて発見されたタモギタケについて. 日菌報 41 : 189-192, 2000.
343. Daniel Guez・長沢栄史：日本新産種 *Mutinus elegans* (腹菌類、スッポンタケ科) について. 日菌報 41 : 74-78, 2000.
344. 長沢栄史・三谷進：テングタケ属マツカサモドキ節の1新種 (英文). 国立科博専報32 : 93-97, 2000.
345. 長沢栄史・下野義人・本郷次雄：キンカクイチメガサ (新称) の日本における発生について (英文). 菌蕈研報 38 : 6-13, 2000.
346. 前川二太郎：日本産コウヤクタケ科の分類学的研究 (英文). 菌蕈研報 38 : 14-22, 2000.
347. 前川二太郎：皇居吹上御苑のコウヤクタケ科 (担子菌門) (英文). 国立科博専報 34 : 299-303, 2000.
348. 村上重幸・長谷部公三郎：シイタケの B 不和合性因子突然変異体. 菌蕈研報 38 : 32-37, 2000.
349. 坪井正知・時本景亮・有田郁夫：シイタケオオヒロズコガに対する BT 製剤の殺虫活性と栽培場面への適用. 菌蕈研報 38 : 38-45, 2000.
350. 前川二太郎・常田昭彦：カワラタケ子実体から分離された *Hyphozyma シンアナモルフ* をもつ新種、*Elutheromyces longispora* について (英文). Mycotaxon 78 : 167-173, 2001.
351. 長沢栄史：海岸林における松露栽培. 日砂誌47 : 140-143, 2001.
352. 久林高市・前川二太郎：ヒノキ根株心腐れ罹病部から分離された菌株の同定およびその病原性 (英文). J. Gen. Plant Pathol. 67 : 262-267, 2001.
353. 湊健一郎・水野雅史・川上佐知子・立岡茂伸・傳寶豊・時本景亮・土田広信：シイタケとマツタケの子実体生長過程における免疫調節活性と抗腫瘍性多糖の変動 (英文). Int. J. Med. Mushr. 3 : 1-7, 2001.
354. 長沢栄史：日本産イグチ類の分類学的研究 . . . ミダレアミイグチ属, ハンノキイグチ属およびクリロイグチ属 (英文). 菌蕈研報 39 : 1-27, 2001.
355. 寺島和寿・松本晃幸・長谷部公三郎・福政幸隆：AFLP 解析による日本のシイタケ栽培品種における遺伝的多様性の評価および品種の判別 (英文). Mycol. Res. 106 : 34-39, 2001.
356. 萩田孝志・岩間清剛・長沢栄史：*Albugo* 属菌によるワサビダイコン白さび病 (新称). 北海道立農試報 82 : 83-85, 2001.
357. 小島靖・村上重幸・長谷部公三郎・福政幸隆：ヒラタケの不和合性因子 B の突然変異体の誘発

- 分離 (英文). *Mycoscience* 43 : 197-200, 2002.
358. 前川二太郎・長谷部公三郎 : *Pseudolagarobasidium calcareum* の日本産標本の特徴および培養の性質 (英文). *Mycoscience* 43 : 271-275, 2002.
359. 福田広一・長沢栄史・林康夫・吉見昭一 : 那須御用邸附属地の菌類. 栃木県博物館研究報告「那須御用邸の動植物相」, pp. 333-356, 2002.
360. 熊谷日登美・桜井英敏・時本景亮 : *Lentinus edodes* と *Allium sativum* の C-S lyase の比較 (英文). *Biosci. Biotech. Biochem.* 66 : 2560-2566, 2002.
361. 前川二太郎・Yang Zhu Liang・Zang Mu : 中国四川省産コウヤクタケ類 (担子菌類) について (英文). *Mycotaxon* 83 : 81-96, 2002.
362. 前川二太郎・Nordén Björn : 日本産コウヤクタケ科の分類学的研究 (英文). *Mycoscience* 43 : 363-365, 2002.
363. 寺島和寿・松本晃幸・林英司・福政幸隆 : AFLP によるシイタケ (*Lentinula edodes*) の連鎖地図 (英文). *Mycol. Res.* 106 : 911-917, 2002.
364. 小島靖・松本晃幸・三村公人・福政幸隆 : DNA 多型に基づくナメコ自然集団における遺伝的類縁関係 (英文). *Mycoscience* 43 : 463-469, 2002.
365. 須原弘登・前川二太郎・久林高市・坂井克己・近藤隆一郎 : ヒノキ根株心腐れ腐朽部より分離された担子菌類の種同定 (英文). *Mycoscience* 43 : 477-481, 2002.
366. 前川二太郎 : パヌアツ産コウヤクタケ類 (担子菌類) について (英文). *Ann. Tsukuba Bot. Gard.* 21 : 119-126, 2002.
367. 小島靖・村上重幸・松本晃幸・福政幸隆 : エリンギの胞子欠損性変異株の誘発分離とその性質 (英文). *Mycoscience* 44 : 33-40, 2002.
368. 常田昭彦・越谷博・平塚保之 : シイタケ菌糸による *Betula papyrifera* 辺材細胞壁の分解様式 (英文). *菌蕈研報* 40 : 1-10, 2002.
369. 松本晃幸・小島靖・福政幸隆・長沢栄史 : リボゾーム DNA の制限酵素解析より推定されるスギタケ属におけるナメコの系統学的位置 (英文). *Mycoscience* 44 : 197-202, 2003.
370. 須原弘登・前川二太郎・金子周平・坂井克己・近藤隆一郎・服部力 : 白色腐朽材より分離された1新種 *Ceriporia lacerata* について (英文). *Mycotaxon* 86 : 335-347, 2002.
371. Nilson H.・Hallenberg N.・Nordén B.・前川二太郎・Wu S. H. : 北半球に分布する *Hyphoderma setigerum* (Basidiomycetes) の系統地理学的考察 (英文). *Mycol. Res.* 107 : 645-652, 2003.
372. 小島靖・村上重幸・松本晃幸・福政幸隆 : 担子胞子欠損性変異体を利用した無胞子性エリンギ菌株育成の可能性. 奈良県森林技術センター研報 32 : 7-12, 2003.
373. 川上佐知子・湊健一郎・時本景亮・水野雅史 : CA 貯蔵したシイタケにおけるレンチナン含量と生理活性の変動 (英文). *Int. J. Med. Mushr.* 5 : 57-62, 2003.
374. 臼井裕一・塚田政範・藤原守・津村明宏・諸橋保・時本景亮 : 日本産乾しいたけと中国産乾しいたけ判別法の検討. 農林水産省消費技術センター調査研究報告 27 : 45-54, 2003.
375. 福田正樹・中嶋悦子・林恭子・長沢栄史 : ミミブサタケ属菌およびタマウラベニタケと係わりのあるナラタケ生物学的種のリボソーム DNA (IGR) の PCR-RFLP 分析を用いた同定 (英文). *Mycol. Res.* 107 : 1435-1441, 2003.
376. 前川二太郎・須原弘登・金城一彦・近藤隆一郎 : 西表島および沖縄本島マングローブ林のコウヤクタケ類 (担子菌門) について (英文). *Mycoscience* 44 : 403-409, 2003.
377. 常田昭彦・Sarah Hambleton・Randolph S. Currah : *Capnobotryella renispora* の分生子形成様式と分子系統学的位置付け (英文). *菌蕈研報* 41 : 1-12, 2003.
378. 工藤伸一・長沢栄史. 青森県で再発見されたヤチヒロヒダタケ *Armillaria ectypa* について. *菌蕈研報* 41 : 26-34, 2003.
379. 前川二太郎・須原弘登・金城一彦・近藤隆一郎 : 日本産コウヤクタケ科の分類学的研究 (英文). *菌蕈研報* 41 : 13-19, 2003.
380. 松本晃幸・寺島和寿・長谷部公三郎 : AFLP 解析によるシイタケの品種判別 (英文). *菌蕈研報* 41 : 20-25, 2003.
381. 蒲原邦行・時本景亮 : ムキタケにおけるトリコデルマ強耐性菌株の選抜. *木材学会誌* 50 : 183-192, 2004.
382. 小島靖・村上重幸・松本晃幸・福政幸隆 : エリンギの交配系および不和合性因子の解析. 奈良県森林技術センター研究報告 33 : 1-5, 2004.

383. 小島靖・村上重幸・松本晃幸・福政幸隆：エリンギ菌株間の遺伝的差異. 奈良県森林技術センター研究報告 33 : 7-14, 2004.
384. 寺島和寿・松本晃幸：加熱乾燥子実体を用いた AFLP 解析によるシイタケの品種判別 (英文). *Mycoscience* 45 : 79-82, 2004.
385. Aremu, E.A.・田中功一・赤木靖典・前川二太郎・赤松創・児玉基一朗・尾谷浩：日本ナシ枝内部組織に生息するナシ黒斑病菌感染阻害物質生産菌の検出(英文). *J. Gen. Plant Pathol.* 70 : 139-142, 2004.
386. 松本晃幸：AFLP 法による食用きのこ「シイタケ」の DNA 品種判別法の開発. 農業及び園芸 79 : 151-156, 2004.
387. 常田昭彦・Randolph S. Currah : Trembling aspen から分離された黒色不完全糸状菌類の新種 *Knufia endospora* (英文). 菌蕈研報 42 : 1-9, 2004.
388. 長沢栄史：日本イグチ類の分類学的研究 . アミハナイグチ属 (英文). 菌蕈研報 42 : 10, 2004.
389. 霜村典宏・長谷部公三郎：シイタケ原木栽培に用いるコナラ内樹皮生存率の TTC を用いた定量 (英文). *Mycoscience* 45 : 362-365, 2004.
390. 須原弘登・前川二太郎・久林高市・近藤隆一郎：ヒノキ心腐れ罹病部に生息する *Phlebia brevispora* の PCR 法を用いた種特異的検出. *J. Wood Sci.* 51 : 83-88, 2005.
391. 小島靖・松本晃幸・村上重幸・福政幸隆：PAPD 分析によるエリンギ菌株間の遺伝的類縁関係の推定. 奈良県森林技術センター研究報告 34 : 1-6, 2005.
392. 小島靖・松本晃幸・村上重幸・福政幸隆：無胞子エリンギ栽培品種の育成. 奈良県森林技術センター研究報告 34 : 13-18, 2005.
393. Ronald H. Petersen・長沢栄史：東アジア温帯産ピロードツエタケ属 (英文). 菌蕈研報 43 : 1-49, 2005.
394. 前川二太郎・須原弘登・金城一彦・近藤隆一郎・星良和：日本のマングローブ林で採集された担子菌類の新属新種 *Haloaleurodiscus mangrovei* (英文). *Micol. Res.* 109 : 825-832, 2005.
395. 松本晃幸・長沢栄史・福政幸隆：日本のスギヒラタケ自然集団におけるリボソーム ITS の塩基配列の変異 (英文). *Mycoscience* 46 : 370-375, 2005.
396. 寺島和寿・車柱栄・長沢栄史・三浦清：IGS-RFLP および AFLP 解析による *Armillaria mellea* subsp. *nipponica* における遺伝的変異の評価 (英文). *Mycoscience* 47 : 94-97, 2006.
397. 蒲原邦行・時本景亮：ムキタケ菌床栽培の実用化のための栽培条件の検討 (和文). 日本きのこ学会誌 14 : 19-27, 2006.
398. 常田昭彦・R. S. Currah : 分生子形成における多形性について (英文). 菌蕈研報 44 : 1-52, 2006.
399. 村上重幸・岩見佳：日本産ハタケシメジ菌株の培養特性および不和合性因子. 菌蕈研報 44 : 53-59, 2006.
400. 蒲原邦行・村上重幸・時本景亮・永守直樹：ムキタケの交配系と担子胞子形成. 菌蕈研報 44 : 60-65, 2006.
401. 霜村典宏・長谷部公三郎：二核菌糸体において顕著に発現するシイタケの菌叢形態異常変異 (英文). *Mycoscience* 47 : 224-227, 2006.
402. 寺島和寿・松本晃幸・林英司・川崎信二・福政幸隆：HEGS (high efficiency genome scanning) システムを用いたシイタケ (*Lentinula edodes*) の連鎖地図の構築：多目的な AFLP マーカーおよび PCR による遺伝マーカーの利用 (英文). *Mycoscience* 47 : 336-346, 2006.
403. 小島靖・松本晃幸・村上重幸・福政幸隆：無胞子性エリンギ栽培品種EマッシュPE2号の特性. 奈良県森林技術センター研究報告 35 : 59-68, 2006.
404. 霜村典宏・村上重幸・松本晃幸・前川二太郎・長谷部公三郎：シイタケにおけるホモタリック突然変異体の分離 (英文). *Mycoscience* 48 : 117-121, 2007.
405. 福田正樹・千葉泉美・今堀哲子・福政幸隆：シイタケの和合性一核系統間のプロトプラスト融合におけるミトコンドリアプラスミッドの伝達 (英文). *J. Wood Sci.* 53 : 264-267, 2007.
406. 福田正樹・若山正芳・内田雅之・福政幸隆・松本晃幸：プロトプラストの種間融合によるヒラタケミトコンドリア DNA のウスヒラタケへの導入 (英文). *J. Wood Sci.* 53 : 339-343, 2007.

#### 研究時報

407. 常田禮孝：シイタケ栽培経営の事例的考察. 1. 乾シイタケ栽培経営と生シイタケ栽培経営の比較 (愛媛県・栃木県実態調査) 62p., 1966.
408. 常田禮孝・柏木仁悦：シイタケ栽培経営の事例的考察. 2. (愛媛県・宮崎県における経営実態聴取調査結果). 100p., 1974.